

令和2年度春の政策協議〔個別協議〕
組織マネジメントシート

4月16日【病院事業庁】

	対 象 者	頁
1	病院事業庁長	P1

令和2年度病院事業庁長 組織マネジメントシート

1 業務計画

使命・存在目的

県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力のある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを実践し、県民の皆さんと共に、生涯にわたって健康な暮らしを続けられる医療環境の実現に貢献します。

※ 所管業務について、重点的に取り組む業務に関する当該年度の実施計画を記載します。

業務名	取組内容・目標	中間	期末	重点
○ 県立病院の経営	<p>(1) 各病院を取り巻く環境や求められる役割・機能をふまえながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供します。また、健全な経営と安定的・継続的な運営を行うため、医師、看護師等の確保・定着に努めます。</p> <p style="text-align: right;">(目標) 経常収支比率 101.5%</p> <p style="text-align: right;">医師充足率 100.0%</p> <p style="text-align: right;">看護師充足率 100.0%</p> <p>(2) 現行の中期経営計画(平成29年度～令和2年度)の計画期間が今年度で終了することから、令和3年度からの新たな中期経営計画を策定します。</p>			
○ こころの医療センターの経営	<p>政策的医療や専門的医療に取り組むとともに、訪問看護やデイケア等の地域生活支援を実施し、多様な医療ニーズに対応します。</p> <p>① 精神科救急・急性期医療の提供 (目標) 精神科救急患者受入件数 230件</p> <p>② 認知症治療 (目標) 認知症入院患者数 40人/日</p> <p>③ アルコール依存症治療 (目標) アルコール依存症入院患者数 30人/日</p> <p>④ 精神科早期介入・早期予防 (目標) 精神科早期介入対応件数 200件</p> <p>⑤ デイケアサービス (目標) デイケア・ショートケア延べ患者数 20,000人</p> <p>⑥ 訪問看護サービス (目標) 訪問看護延べ患者数 5,000人</p> <p>⑦ 入院患者の退院支援 (目標) 入院後1年以内の患者退院率 95.0%</p> <p>⑧ 経営の健全化 (目標) 経常収支比率 101.1%</p>			

<p>○一志病院の 経営</p>	<p>総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践や、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組めます。</p> <p>また、白山・美杉地域における実効性のある地域包括ケアシステムの構築及び地域医療の充実に向けて、津市と協議・連携しながら取り組めます。</p> <p>①在宅療養支援 （目標）訪問診療、訪問看護等延べ患者数 4,000人</p> <p>②予防医療 （目標）住民健診、人間ドック、がん検診受診者数 1,400人</p> <p>③救急医療 （目標）救急患者受入件数 1,000件</p> <p>④医療過疎地域への支援 （目標）医療過疎地域等への支援件数 7件</p> <p>⑤総合診療医の育成 （目標）初期研修医・医学生受入延べ人数 600人</p> <p>⑥看護実習生等の受入れ （目標）看護実習生等受入延べ人数 330人</p> <p>⑦プライマリ・ケアセンターへの支援 （目標）プライマリ・ケア研修会開催件数 3件</p> <p>⑧経営の健全化 （目標）経常収支比率 103.1%</p>			
<p>○志摩病院の 運営</p>	<p>志摩地域の中核病院としての役割を果たせるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら、診療機能の回復・充実に取り組めます。</p> <p>また、現行の指定期間が令和3年度で終了することから、次期指定に向けて取組を進め、基本協定を締結します。</p> <p>（目標） 1日平均入院患者数 251人/日 1日平均外来患者数 350人/日 1か月平均救急患者数 615人/月</p>			
<p>○新型コロナ ウイルス感 染症への対 応</p>	<p>県内における感染者の拡大に備え、医療保健部と密接に連携しながら、県立病院としての役割を果たせるよう、取り組めます。</p>			

進捗管理	中間	期末
成果と残された課題		
改善のポイントと取組方向		

2 運営計画（経営方針行動指針の実践取組）

運営ビジョン	<p>(1) コンプライアンスの徹底と危機管理</p> <p>○県立病院が県民の皆さんや地域に信頼されるよう、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上に取り組みます。</p> <p>○個人情報の紛失・漏洩など日常業務における不適切な事務処理の未然防止策の強化を図ります。</p> <p>○医療事故や災害の発生時に迅速かつ円滑に対応できるよう、危機発生を想定した訓練等を実施し、職員の危機管理意識と危機対応力を向上させます。また、各病院のBCP（事業継続計画）の点検・改善を進めます。</p> <p>(2) スマート改革の推進</p> <p>○地域により良い医療サービスの提供するため、地域の医療機関や大学等関係機関などとの連携・協力の強化を図ります。</p> <p>○県立病院の役割・機能に応じた医療を提供できるよう、職員一人ひとりの能力の向上に取り組みます。</p> <p>○県立病院に求められている役割・機能を十分にふまえつつ、戦略的な経営を推進し、県民の皆さんに安全で良質な医療を提供するとともに、業務改善を進めます。</p> <p>○職員間の日頃のコミュニケーションや「報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）」を大切に、職員が仕事を抱え込んだり孤立したりすることなく、チームワークを発揮して業務を遂行できるよう、明るく風通しの良い職場づくりを進めます。</p> <p>(3) ワーク・ライフ・マネジメントの推進</p> <p>○ワークとライフの高度な両立が実現できる職場づくりを進めます。</p> <p>(私のイクボス宣言)</p> <p>1 業務削減・プロセス改善などの業務見直しを積極的に推進することによって、業務遂行の効率化を図り、時間外勤務の削減に取り組みます。</p> <p>2 年次有給休暇等の取得促進を図るとともに、職場全体で育児参画をはじめとする職員の「ライフ」の充実を応援する風土づくりの推進に取り組みます。</p> <p>3 「ワーク」においても「ライフ」においても充実感を持って自己実現していくことの重要性を職員と共有するとともに、部局内の管理職に「イクボス」の取組を広げ、相互支援を促進する職場風土づくりを進めます。</p>
--------	--

(1) コンプライアンスの徹底と危機管理

区分	取組内容・目標	中間	期末	重点
高い倫理意識の確保	<p>職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分事」と捉えることができるよう、公務員（県職員）、とりわけ医療に携わる職員としての高い倫理感や人権意識の醸成を図ります。</p> <p>（目標1）県民の信頼に応える業務姿勢等をテーマにしたコンプライアンス研修の実施 各所属3回</p> <p>（目標2）患者の不安を軽減し、安心して治療を受けてもらうための医療従事者の倫理観・人権意識の確認を目的とする研修の実施</p> <p style="text-align: right;">随時実施</p>			
適切な事務処理の実施	<p>事務処理ミスの発生や不適切な業務を防止するため、職員への周知徹底とともに、次の取組を実施します。</p> <p>（目標1）班単位等でのミーティングの実施 定例実施</p> <p>（目標2）所属を越えたサポートの実施 適時実施</p> <p>（目標3）過去の発生事例を題材とした、発生防止策と適切な事後対応等にかかる研修会の実施</p> <p style="text-align: right;">各所属3回</p>			
危機管理	<p>（1）医療事故の防止に努めるとともに、職員の危機管理意識の向上を図る取組を進めます。</p> <p>（目標）危機管理研修等への参加率 95.2%</p> <p>（2）大規模地震等の自然災害を想定した訓練等を実施し、危機対応能力を向上させます。</p> <p>また、各病院のBCP（事業継続計画）の点検・改善を進めます。</p> <p>（目標）災害訓練等実施回数 各病院2回以上</p> <p>（3）インシデントレポートの事例収集や再発防止策の検討を進め、院内の研修会等で共有します。</p> <p>（目標）研修会の実施 各病院2回以上</p>			
進捗管理	中間	期末		
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				

(2) スマート改革の推進

区分	取組内容・目標	中間	期末	重点
協創・現場重視の推進	<p>(1) 患者が住み慣れた地域において安心して暮らしていけるよう、医療、介護、予防等のさまざまな関係機関との協創による取組を推進します。 (目標) 多職種連携等による取組の実施</p> <p>(2) 病院現場を重視する視点を基本として、各病院の取組について、病院事業庁全体で情報共有するとともに、広く参画することなどにより、一層の充実を図ります。 (目標) 病院との定例的な会議の開催 5回/月</p>			
職員の能力開発	<p>医療従事者等の専門的な知識・技術の取得・向上を積極的に支援します。 (目標) 各種研修会への参加や資格取得の促進 2回/人</p>			
業務改善等の推進	<p>(1) 県立病院の役割・機能に応じた取組を進めて入院・外来収益の確保を図るとともに、経費削減など経営改善に取り組みます。 (目標1) 経常収支比率 101.5% (目標2) 業務改善の推進 テーマ：病院運営業務の電子化の検討</p> <p>(2) 患者等のニーズに応じた改善策を講じ、満足度の高い医療サービスを提供します。 (目標) 患者満足度 95.0%</p> <p>(3) 県民の皆さんに対し、県立病院の取組を積極的に情報提供します。 (目標) 地域住民参加イベントの参加者数 500人</p> <p>(4) 会議資料や庁内で共有する資料のペーパーレス化に取り組みます。 (目標) 紙資料の削減</p> <p>(5) 環境負荷の低減のため、環境に配慮した行動を実践します。 (目標) プラスチックごみの削減</p>			
チームワークの向上や職員の意欲の増進	<p>職員間のコミュニケーションを大切にして、疑問や課題を一人で抱えることなく何でも尋ね、相談できる明るく風通しの良い職場づくりを進め組織で仕事を進めることを徹底します。 (目標1) 職員満足度 67.0% (目標2) 班単位等でのミーティングの実施 定例実施 (目標3) 所属を越えたサポートの実施 適時実施</p>			

進捗管理	中間	期末
成果と残された課題		
改善のポイントと取組方向		

(3) ワーク・ライフ・マネジメントの推進

区分	取組内容 目標	中間	期末	重点
ワーク・ ライフ・ マネジメントの 推進	<p>ワークとライフの高度な両立を実現するため、業務の計画的・効率的な執行と平準化（時間軸・職員間）に努めるとともに不断の業務改善に取り組み、時間外勤務の削減を図ります。</p> <p>また、年次有給休暇等の取得を促進するとともに、職場全体で育児参画を応援する環境づくりに取り組めます。</p> <p>（目標1）時間外勤務の縮減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務 167 時間以下/人 ・超長時間勤務者数 0 人 ・定時退庁強化週間の実践 4 回 <p>（目標2）年休等の取得促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年休取得 17 日以上/人 ・「ノー残業デーに時間休（年休）を取得しよう！」の取組を進め、年休取得を推進 15 回/人 <p>（目標3）男性職員の育児参加休暇取得率 100%</p> <p>（目標4）男性職員の育児休業取得率 50%</p> <p>（目標5）ワーク・ライフ・マネジメントシート等を活用した対話の実施 3 回</p>			
進捗管理	中間	期末		
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				

